



● A K P 25周年記念会議

1972年の開設以来、のべ923人のアメリカ人学生が同志社大学で学んだ AKP (Associated Kyoto Program) の25周年を記念する「国際教育に関する AKP-同志社交流会議」が3月28日・29日の2日間、今出川校地で行われた。会議には本学の岩山太次郎学長やアーモスト大学のチャールズ・ロングワース理事長ら同志社大学と AKP 加盟大学の首脳が出席。受講生の受け入れ拡大策や日本人学生との交流促進などについて、活発な協議が行われた。





●大学名誉文化博士号授与式

5月29日、今出川校地・神学館礼拝堂において名誉学位贈呈式が行われ、卒業生4氏に名誉文化博士の称号を贈呈した。その4氏は、写真左から前衆議院議長で現在社民党党首の土井多賀子氏（'57法院修了）、韓国・協成海運代表理事の王相殷氏（'41同志社高等学校〈現・商学部〉卒）、直木賞作家の黒岩重吾氏（'47旧法経卒）、三洋電機会長の井植敏氏（'56工卒）の皆さん。4氏は角帽にガウンをはおって出席され、岩山学長から名誉学位記と、古代紫をあしらった記念のフードが贈呈された。



●女子大学名誉文化博士号贈呈式



挨拶する尹慶恩（ユン・キョンウン）総長



同志社女子大学初代学長
エスター・L・ヒバード氏



ソウル女子大学校創立者・
初代総長
高 鳳京（コ・フワンギョン）氏

女子大学は7月2日、初の名誉学位贈呈式をおこない、E・L・ヒバード（女子大学初代学長）、高鳳京（1928年女専英文科卒、1931年大学法学部卒・ソウル女子大学校創立者）両氏にそれぞれ同志社女子大学名誉文化博士号をおくった。当日は、高齢のため来日できない両氏に代わり、中島和子女子大学教授と、尹慶恩ソウル女子大学校現総長が兒玉学長から学位記と記念品を受領した。

●大学東京講座

社会人をはじめ誰でも受講できる東京講座が6月17日、渋谷にある日本キリスト教団東京山手教会でスタートした。同志社大学の教育・研究成果の公開を全国規模で展開することが目的。講座のテーマは、生涯学習への関心、高度化・複雑化する社会において人々の関心が多様な領域へ広がっていることなどを考え、現代のトピカルなもの、キリスト教や同志社の歴史を主題としたものを組み合わせているのが特徴。第1回目は定員の6倍もの申し込みがあったため急きょ会場を大礼拝堂に変更し、盛況の中で行われた。

